

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		滝乃川学園放課後等デイサービス さにー				公表日	2025年 2月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	園内の共用スペースや園庭、畑など様々な活用スペースを活用している。 園内の共用スペースや園庭の活用がされており、活動の場が限定されていない。	施設内の他室を活用することができるが、重症児の活動室は手狭感はある。 知的と重症児のスペースが離れていて、連携が取りにくい。 多動の利用児が多いなどメンバーによっては狭く感じることがある。 長期休み時の、重症児の部屋が狭い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	適切。都の配置基準よりは多い人数で支援している。 他部署の応援などでなんとか出来ている面もある。	子どもの状態が落ち着かない時等スタッフがもう少しいると良いと感じることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	食べるスペース、遊ぶスペースなど空間はわかりやすく分けている	段差がある等バリアフリー化ができていない部分もある。 絵やカードの支援等もしているが、個々の特性に合わせて切れていないこともある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	清掃や換気は丁寧かつ小まめにしており、清潔は保っている。 毎日清掃する部分とスケジュールを組んで清掃する部分があり、清潔にしている。	建物古古かったり暗かったりするので、一見すると汚く見えることは否めない。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別の対応をする部屋、場所は施設内に多数あり、適宜活用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	業務改善に全職員が取り組むよう、4月には個々の目標を作っている。12月と3月には目標の達成状況の振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	第三者評価や自己評価による保護者アンケートの結果を全職員で共有し、改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	職員は意見を出しやすい雰囲気があるので、適宜、改善に対する意見を出して業務改善をすることができている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		3年毎に第三者評価を受けて、評価結果を職員で共有し業務改善に繋げている。今年度は評価を受けた。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		例年、市内の障害児関連事業所に向けて自部署で支援についてや緊急対応についてなど様々な研修を企画し3~4回実施している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	法人のホームページにて6月と10月に公表し、都に届け出を出した。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	2	適切に作成できている。	都による新しい個別支援計画に対する考え方がまだ馴染めない。 アセスメントについては、感覚的なものが多い。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		作成する際は全職員の利用児に対する意見などを聞き、作成してからも確認の意見を聞き、コンセンサスを取り合いながら作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	毎月、各利用児の計画の進捗状況を共有するための会議を複数回行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	必要に応じて、または希望者に対して、標準化された検査を実施している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	概ね適切に設定できている。	移行支援はあまり行っていないので移行支援については具体的な項目を設定していない。 考慮はされているが、適切かは分からない。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	全職員が活動の企画をし、全職員で共有、協力し合って活動を実施している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	毎月、活動の企画を出しており、1年を通して様々な活動ができるよう努めている。	重症児の活動や集団活動は同じことの繰り返しになることが多い。 活動によってはマンネリ化しているものもある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	個別と集団を意識した支援の提供に努めている。	利用児によっては集団活動に参加しない、できないことがある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	できている。途中での変更なども多々あるが、その都度チームで連絡、共有し合っ直ぐに対応している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	概ねできている。	勤務時間にズレがあるので、必ず全員での振り返りにならない日もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	記録は支援計画に沿って適切に残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	適切にできている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	1	概ねできている。	利用児とともに活動を企画したりする部分ではできていないこともある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	2	自己決定力を育てる支援を意識したり努めたりしてはいる。	全員に出来ていない。活動内容の工夫が必要。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		会議があった場合は利用児をよく理解した職員と児童発達支援管理責任者が参加している。	会議があまりない（年に1～2件）。 ほぼない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	市内の障害児関連事業所との関係性を築くべく、様々な研修を企画してご案内をしている。	体制が整っているとは言えない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		適宜、情報共有を行っており特に困っていない。 概ね適切に行えていると思っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4	就学前の情報は保護者から収集している。	就学前の情報を他事業所から収集していない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4		進んでの情報提供はしていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	児童発達支援センターに当事業所が企画する研修のご案内をしている。	スーパーバイズや助言は当園の専門職から適宜受けており、児童発達支援センターからは受けていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		利用児同士の交流はしていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7		法人内の別事業所の職員が参加しており、そこに任せてしまっている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	2	送迎時にその日の様子をお伝えしたり、ご家庭の状況をうかがうよう努めている。	不足部分がある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	ペアレントトレーニングは開催したが、希望者が集まらなかった。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	運営規定、支援プログラムはスタッフルーム内に掲示している。	あまり知らない。 利用者負担金については経理が把握しており、職員は支援中心となっている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2	直接聞き取るよう努めているが、口頭で伝えにくい場合を鑑みて意向集約のアンケートを行っている。	アンケートにもご意向を書かれない方もいる。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	2	できている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		児童発達支援管理責任者や管理者を中心に適宜行っているが、必要に応じて当園の心理士との面談をご案内し、好評を得ている。	納得できる助言ができていないかはわからない。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		どの利用児も複数の事業所を利用しており、就労している保護者も多いので、一堂に集まることは難しい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2	利用契約時に苦情解決の窓口については必ず説明している。 大きな苦情はないように思う。	知らない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		お便りは月に1回出し、夏休みなどは特別なお便りを出して活動の様子を発信している。法人のSNSにも活動の様子をあげている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			留意しているつもりではいるが、自信を持って正しくできているとは言えない。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		放デイ職員としてできる範囲の配慮には努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		法人全体で行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3		法人が各種マニュアルを策定しているが、ご家族等への周知は出来ていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPは法人が策定しており、毎月様々な訓練を行っている。等事業所独自の避難訓練も適宜行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			予防接種の状況については確認していない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			保護者への確認のみで意思の指示書の提出までは求めている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	できている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		安全計画の内容をご家族等へ周知していない。 知らない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		毎月の会議で共有しているが、日々の共有もできている。ヒヤリハットがない日はないと思っており、日々ヒヤリハットがあることが悪いこととは思っていない。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止の研修を全職員が受けている。権利について考える委員会、身体拘束適正化について考える委員会もあり、職員が意見交換をしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			同意書は取り交わしているが、保護者に十分に説明しているとは言えない。	